



入試やテストの1週間

北京オリンピックも閉幕まであと2日となりましたが、テレビで各種目の選手の挑戦する姿を見ながら、元氣や感動をもらっています。

さて、今週は2月15日(火)、16日(水)に私立高校一般入試が行われました。これで3年生の入試は、来週の公立後期選抜を残すのみとなりました。また、校内では17日(木)18日(金)に、1、2年生の学年末テストを実施しました。終わって「難しかった。」という声もあれば「ワークをしてたらできた。」という声もありました。今週は、生徒の皆さんにとって緊張感のある1週間だったと思いますが、よく頑張りました。試験開始のチャイムを待つ2年生



情報モラル講話

2月16日(水)3時間目の学級活動の時間に「情報モラル」についての講話を行いました。講師は、熊日新聞の連載記事「スマホの向こう側」を執筆されている情報モラル教育の第一人者の帯山中学校の田中慎一郎教頭先生でした。当日は、帯山中学校からオンラインで桜山中学校全クラスに向けて、中学生目線でお話いただきました。生徒はうなずいたりしながら、皆よく聞いていました。

現在では多くの中学生が日常的にSNSを利用していますが、それに伴い、SNSをきっかけとしたトラブルや問題に遭遇してしまうこともあります。子供たちはSNSについての危機感があまりありません。ご家庭のルールのもと、ぜひ保護者の目の届く範囲での利用で子供たちを守っていただくようお願いいたします。

生徒集会

後期初の生徒集会を2月16日(水)6時間目の後に行いました。まず、保健委員会から「歯磨き週間の取組」について2年1組が表彰されました。また、生活委員会から各クラスの「棚の美しい使い方ができている生徒」の皆さんが表彰されました。次に、体育委員会から「体カテスト」の結果分析についてわかりやすく発表してくれました。さらに、執行部と学級委員会から「デジタル桜箱」の説明がありました。オンラインでの実施でしたが、生徒による生徒が主役のよい集会となりました。

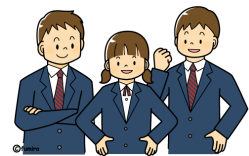


体カテストについて発表する体育委員会

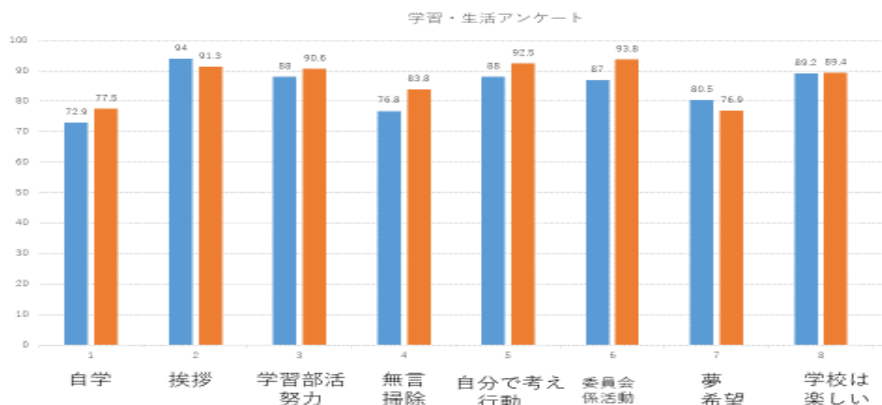
学習・生活アンケート(7月と12月の比較)

下のグラフは、昨年7月と12月に全校生徒に実施したアンケートの結果の一部です。棒グラフは「そう思う、どちらかといえばそう思う」と答えた生徒の割合(%)を表しています(左が7月、右が12月)。質問項目は以下のとおりですが8項目中6項目が1学期より2学期の方が高くなっています。

- 1 宿題だけでなく、予習や復習など自主的な学習(自学)などにも取り組んでいますか。
- 2 校門一礼や立ち止まって挨拶など、挨拶を自分から進んでしていますか。
- 3 学習や部活動等で自分から努力していますか。
- 4 掃除の時間、無言で時間いっぱい担当場所の掃除を頑張っていますか。
- 5 自分で考え行動することを心がけていますか。
- 6 委員会活動や係の仕事に積極的に取り組んでいますか。
- 7 夢や希望を持っていますか。
- 8 学校生活は楽しいですか。



学習・生活アンケート 1学期末と2学期末の比較



項目2「挨拶」と項目7「夢や希望」について、少し減少していることが気になりますが、全体的に子供たちが学習・部活・掃除・委員会活動などに前向きに努力している姿がグラフから窺えます。また、学校教育目標である「自分で考え行動する」ことを心がけている生徒の割合が増加していることはうれしく思います。これから残り少ない今年度を有終の美で飾ってほしいと思います。